

2024 年度

和泉短期大学雇用満足度調査

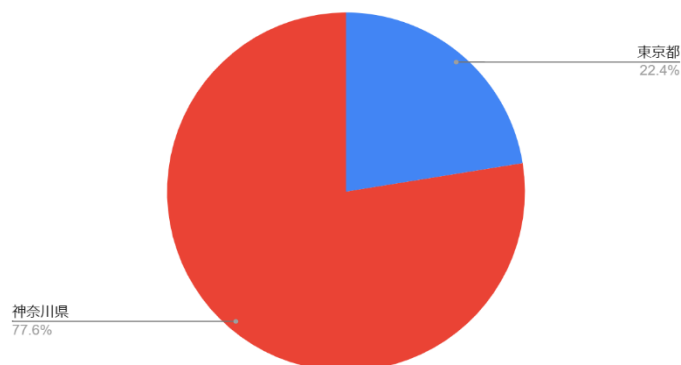
1. 調査目的：卒業生の就業状況を把握することで、本学の定める卒業認定・学位授与の方針を満たしているかを確認し、教育の質保証を図ることを目的とする
2. 調査対象：2022年4月、2023年4月に本学卒業生を採用頂いた園・施設
3. 調査方法：調査項目記載用紙を送付し、グーグルフォームで回答いただいた
4. 調査期日：2024年12月
5. 調査件数：160件（2.の中から無作為に抽出、別紙のとおり）
6. 回答件数：98件
7. 回答率：61.3%

2025年2月5日

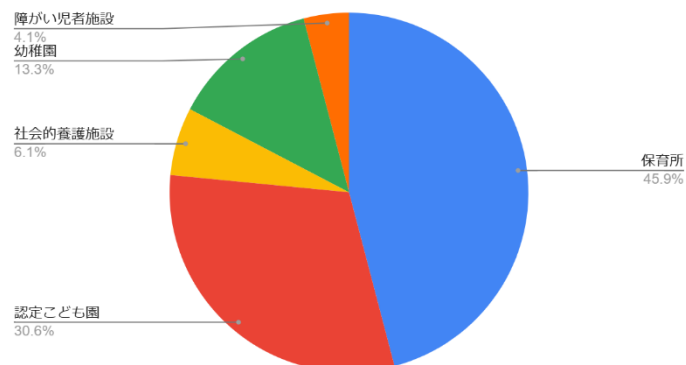
和泉短期大学 学生委員会

2024 年度雇用満足度調査 和泉短期大学の卒業生について

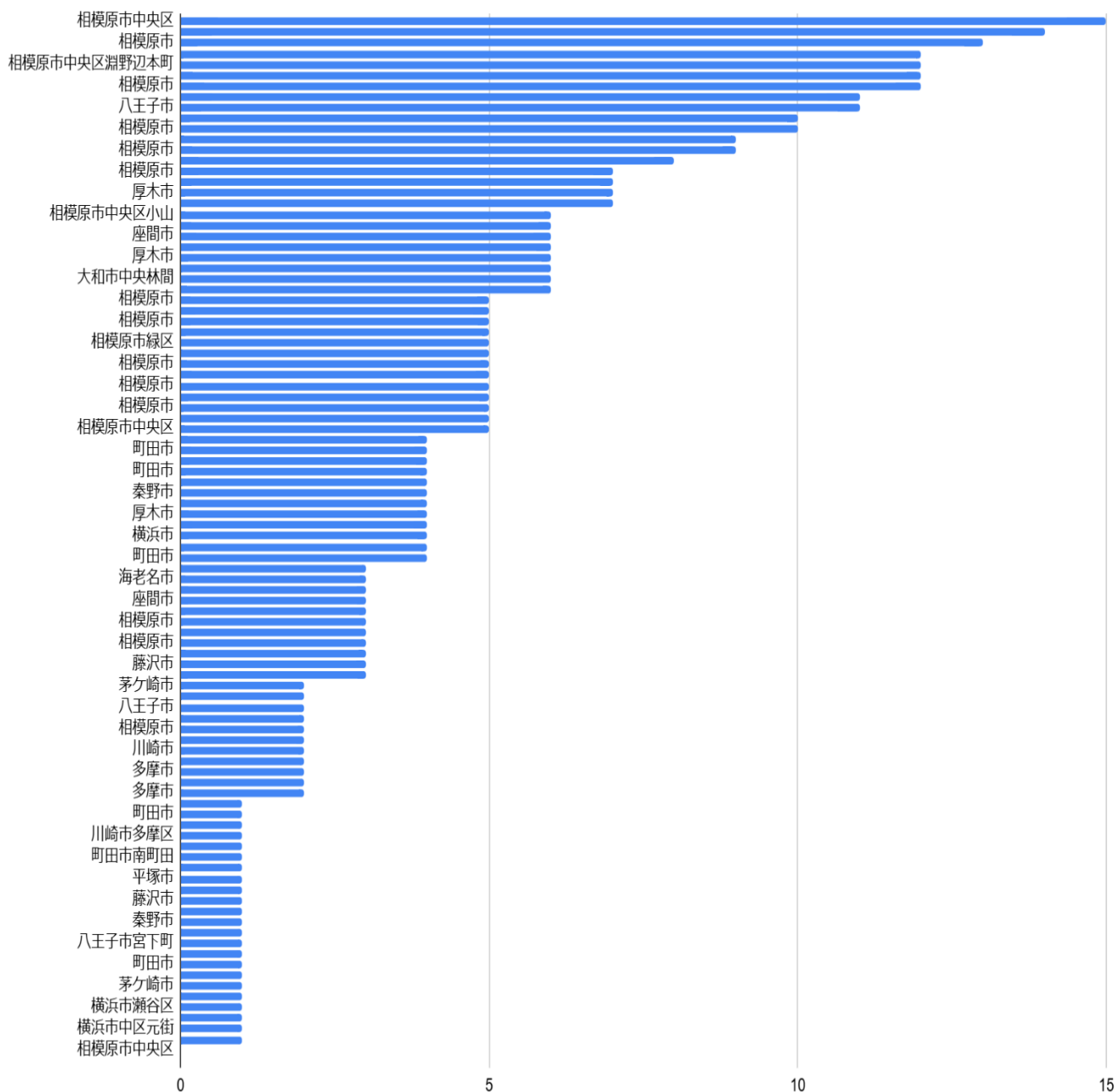
「I-1.所在地」



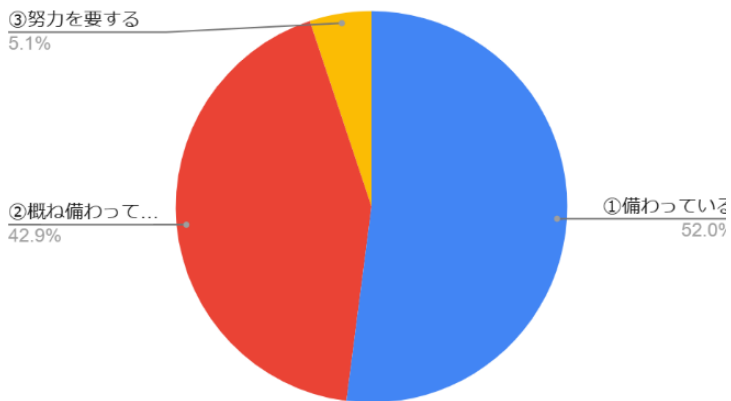
I-3. 業種



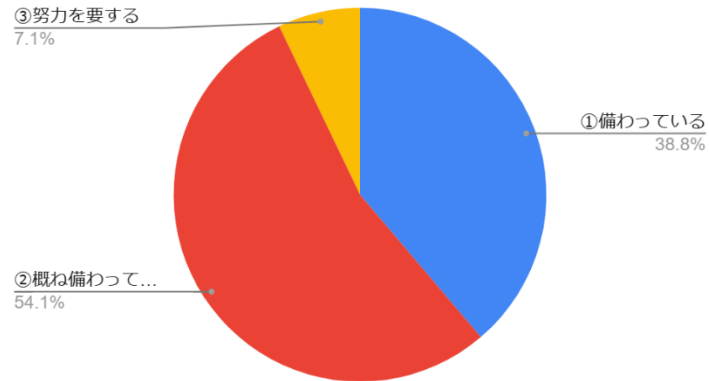
卒業生在籍数



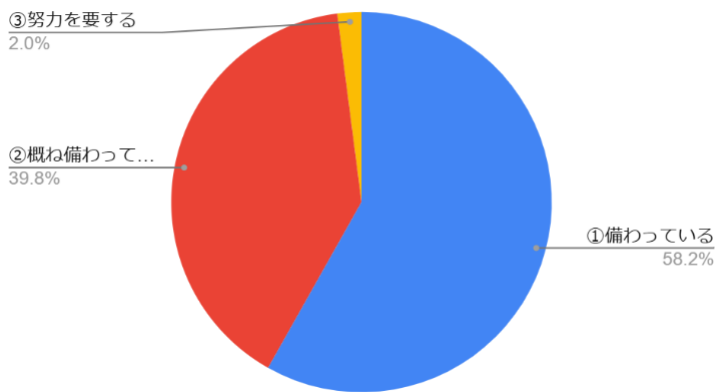
「Ⅱ-1.礼節を重んじ良識ある行動ができる」



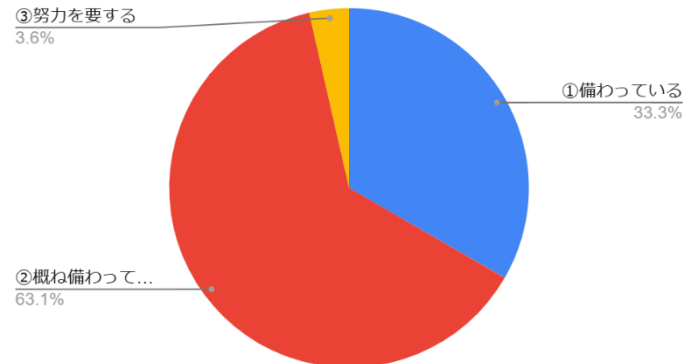
「Ⅱ-5.基礎学力」



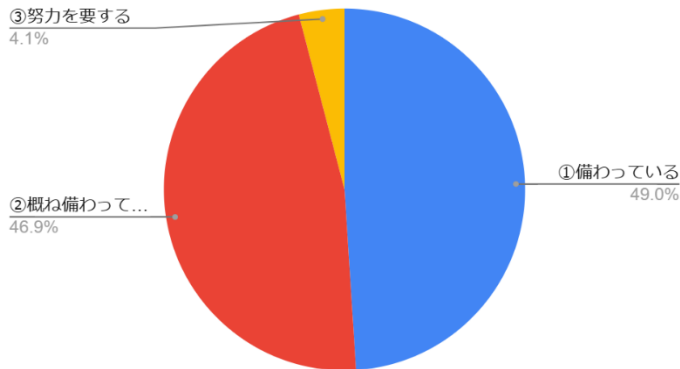
「Ⅱ-2.人権の尊重について」



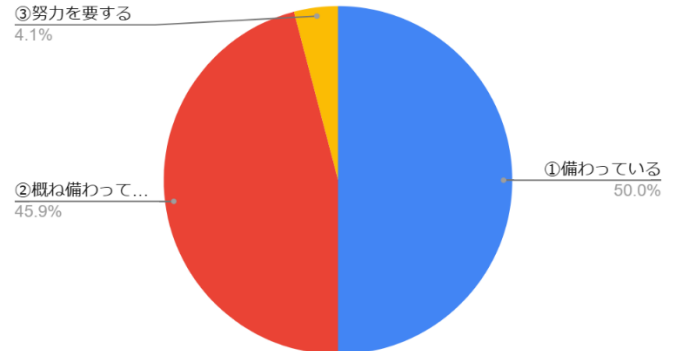
「Ⅱ-6.保育・福祉の知識と技能」



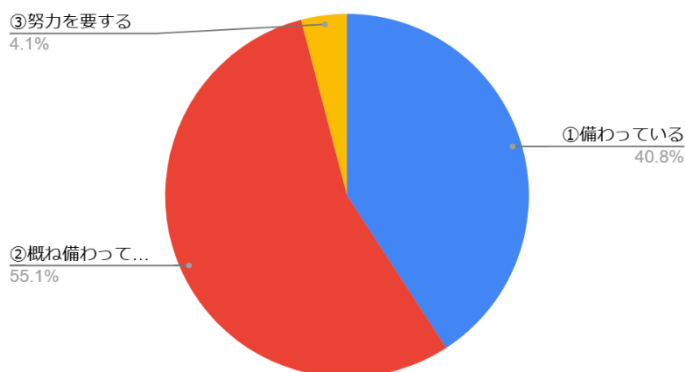
「Ⅱ-3.多様性の尊重を理解する力」



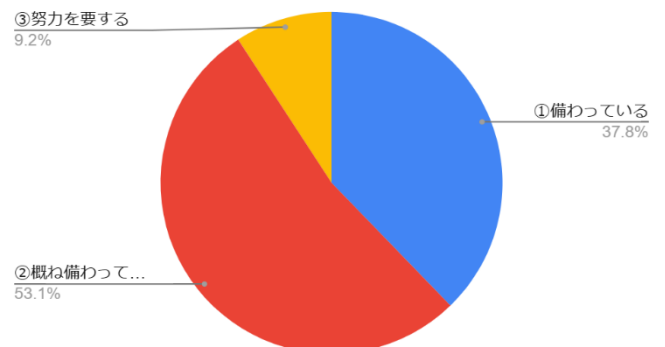
「Ⅱ-7.コミュニケーション力」



「Ⅱ-4.社会貢献」



「Ⅱ-8.自ら考える力」



〈結果と分析〉

- ・調査の結果、全項目で「備わっている」と「概ね備わっている」の合計が9割を超えていることから、全体的傾向として「和泉の10の力」が多くの卒業生が身につけていると評価されていることが分かった。
- ・和泉の10の力のうち「備わっている」との回答が多かったのは『人権の尊重について』（58.2%）、『礼節を重んじ良識ある行動ができる』（52.0%）、『コミュニケーション力』（50.0%）だった。このことは本学のカリキュラムポリシーが浸透し、人格形成、キャリアデザインなどの学びが成果を上げているものとする。
- ・一方「努力を要する」の回答が他より多いのは『自ら考える力』（9.2%）、『基礎学力』（7.1%）だった。この結果は昨年度に実施した調査でも同じだった。この点の改善に向けた教育の展開や、学生支援などでの工夫が求められている。